

<単元> 第4章 近世の日本 3節 産業の発達と幕府政治の動き (教科書 歴史p.120~p.133)

<めあて> 江戸時代の産業や幕府政治の動き、世の中の様子についてまとめよう。

1 教科書 p.120 の **1** 「農業技術の進歩」の資料や本文をもとに、幕府や藩、農民が、年貢等の収入を増やすために工夫したことをまとめましょう。

【農地の拡大】

- 幕府や藩…()を造ったり、海や広い沼地を干拓したりして、大きな()を開発した
- 農民 …少しずつ荒地を開墾した
- 農地の面積は、18世紀の初めには、豊臣秀吉のころの約2倍に増えた

【新しい農具の開発、活用】

- 深く耕すことのできる()や脱穀を効率的にする()などを活用した
- 生産力が高まった

2 教科書 p.120 の **3** 「江戸時代に使われた貨幣」の資料の中から、幕府が「銅貨」として各地の「銭座」で大量に造らせ、全国に流通させたものはどれでしょうか。教科書 p.121 の本文をもとにして確かめ、その「通貨の名前」を書きましょう。 答え：()

3 教科書 p.123 の **7** 「近世の交通」の資料や教科書 p.122~p.123 の本文等を参考にして、(1)~(6)の確認項目に対する答えを、下の【語群】からそれぞれ選びましょう。

番号	確認項目	答え
(1)	「五街道」の中で、「下諏訪」を通過しているもの(道)	
(2)	「東海道」の結びの地(ゴール地点)	
(3)	17世紀の中ごろから、「酒」を運ぶために大阪と江戸の間を定期的に往復した船	
(4)	東北地方の年貢米を江戸に運送するために開かれた航路	
(5)	17世紀後半に大きく発展した江戸、大阪、京都の三つの都市の総称	
(6)	北陸や西日本の諸藩が、倉庫を備えた邸宅として大阪に置いたもの(年貢米や特産物を販売した)	

【語群】 東海道 中山道 甲州道中 日光道中 奥州道中 江戸 白河 関 京都 大阪 菱垣廻船 樽廻船 西廻り航路 東廻り航路 三都 城下町 将軍のおひぎもと 天下の台所 蔵屋敷 西陣織 株仲間 両替商 関所

4 教科書 p.124 をもとに、第5代将軍の「徳川綱吉」が行った政治についてまとめましょう。

【学問】

【動物愛護政策】

【財政政策】

5 教科書 p.125 をもとに、「元禄文化」についてまとめましょう。

文化の名前	文化の中心地	文化が栄えた背景	文化のにない手
元禄文化	()や大阪を中心とする()	()の繁栄	()
主な芸術や作品の作者等			
<input type="checkbox"/> 浮世草子(小説)…() <input type="checkbox"/> 人形浄瑠璃…() <input type="checkbox"/> 歌舞伎…坂田藤十郎、市川団十郎 <input type="checkbox"/> 俳諧(俳句)…()「奥の細道」 <input type="checkbox"/> 装飾画…俵屋宗達「風神雷神図屏風」、()「すずり箱」 <input type="checkbox"/> 浮世絵…菱川師宣「見返り美人図」			

6 教科書 p.126 をもとに、第8代将軍「徳川吉宗」が行った「享保の改革」についてまとめましょう。

主な政策	その内容
質素・儉約	平日の食事は一汁一菜、その回数も一日に朝夕の二食を原則とすることなどを武士に命じた
()の制	参勤交代で大名が江戸にいる期間を1年から半年に短縮するかわりに、1万石につき100石の米を幕府に納めさせた
()書	裁判の基準になる法律を定めた
()の設置	庶民の意見を聞くために設置した

7 教科書 p.126～p.127 をもとに、農業の発達にともなう農村の変化についてまとめましょう。

【貨幣経済の広がり】

- 農具や肥料を購入するなど、農民にも貨幣が必要になり、自給自足に近かった農村は変わっていった
- 土地を手放して()になる者や、都市に出かせぎに出る者が多くなる一方で、土地を買い集めて()になる者が出るなど、貧富の差が拡大していった
- 農民が作物を自分で製品に加工して問屋に売る家内工業が発達した
 - 18世紀ごろ: 商品を買集める問屋が農民に織機やお金を前貸して布を織らせ、製品を安く買い取るようになる
→これを()という
 - 19世紀ごろ: 大商人や地主の中に、工場を建設し、人をやとって分業で製品を作る者が現れた
→これを() (マニユファクチュア)といい、近代工業が発展する基礎になる

8 教科書 p.127 の **5** 「打ちこわしの様子 (上) と百姓一揆・打ちこわしの発生件数」の資料や、教科書 p.127 の本文をもとに、次のことを確かめましょう。

(1) 「百姓一揆」と「打ちこわし」の違いは何か、「場所」「要求する内容や相手」に着目して説明しましょう。

(2) p.127 **7** の「からかさ連判状」について、一揆の中心人物が分からないようにするための工夫は何か考えましょう。

(3) p.127 における「百姓一揆と差別の強化」を読んで、幕府や藩が厳しく差別されていた人々にとった対応について、あなたはどのように感じましたか？自分の考えを書きましょう。

9 教科書 p.128 をもとに、老中の「田沼意次」が行った政治等についてまとめましょう。

【商工業】

- 商工業者が()を作ること
- を奨励し、これに特権をあたえるかわりに営業税をとる

【貿易(外国との関わり)】

- 長崎貿易を活発にするために、輸出品である銅の専売制を実施する
- 蝦夷地の調査を行い、俵物の輸出を拡大する

【その他】

- 印旛沼(千葉県)の()
- を始める

この時代は、商工業が活発になり、自由な風潮の中で学問や芸術が発展したが、地位や利権を求めて()が横行した。また、1782年に起こった()は、翌年の浅間山の大噴火などによる凶作で、全国に広まった。各地で百姓一揆や打ちこわしが起こり、意次は老中を辞めさせられた。

10 教科書 p.128～p.129 をもとに、「寛政の改革」についてまとめましょう。

【寛政の改革 老中()】

- 江戸などに出てきていた農民を()に帰し、凶作やききんに備えるため、各地に()を設けてたくわえさせ、()の栽培を制限した
- 江戸の湯島に()を創り、ここでは朱子学以外の学問を教えることを禁じ、試験を行って有能な人材の登用を図った
- ()令を出す一方、旗本や御家人が札差からしていた()を帳消しにした
- 政治批判を禁じたり、出版を厳しく統制したりした

11 教科書 p.129、p.132 の本文や、6 「北方探検」の資料をもとに、18世紀後半から19世紀前半までの「江戸幕府と外国とのかかわり」をまとめましょう。

年	江戸幕府と外国とのかかわり
1792	ロシアの使節()が蝦夷地の根室に来航し、通商を求める →幕府は長崎で交渉すると回答
1804	長崎にロシアの使節()が来航し、通商を求める →幕府は国交のある朝鮮、琉球、貿易をしているオランダ、中国以外の国とは関係をもたないことが国の決まりだとして、これを断る →ロシアを警戒した幕府は、蝦夷地や樺太(サハリン)の調査を()に命じて行い、19世紀前半まで蝦夷地を幕府の直接の支配地にした →19世紀になると、ロシアだけでなく、イギリスや()の船も日本に近づくようになる
1808	イギリスの軍艦が長崎の港に侵入する事件(フェートン号事件)がおこる
1825	幕府は()令を出す

12 教科書 p.130～p.131 をもとに、18世紀後半の「学問の発展」についてまとめましょう。

【学問の発展(国学と蘭学、教育の広がり)】

- () …日本古来の伝統を評価する「古事記伝」を著し、()学を大成
- ()など…ヨーロッパの解剖書を翻訳した「 」を出版、()学の基礎を築く
- () …ヨーロッパの技術で全国の海岸線を測量し、正確な日本地図を作る
- *諸藩では()を設け、武士に学問や武道を教え、人材の育成を図る
- *庶民の間にも教育への関心が広がり、町や農村に多くの()が開かれる

13 教科書 p.130～p.131 をもとに、「化政文化」についてまとめましょう。

文化の名前	文化の中心地	文化のにない手
化政文化	()	()
主に流行したこと、作品、作者等		
<input type="checkbox"/> 歌舞伎は舞台や演目が工夫され、落語などを楽しむ寄席が数多く造られ、()も人気を集める <input type="checkbox"/> 幕府を批判したり、世相を皮肉ったりする川柳や狂歌が流行する <input type="checkbox"/> 美人画…() <input type="checkbox"/> 風景画…()や歌川広重 <input type="checkbox"/> 長編小説…十返舎一九「東海道中膝栗毛」、滝沢馬琴「南総里見八犬伝」 <input type="checkbox"/> 俳諧(俳句)…()が絵のように風景を表現、()は農民の素朴な感情をよんだ		

14 教科書 p.132～p.133 をもとに、「天保のききん」と「天保の改革」についてまとめましょう。

【天保のききん】

- 1830年代:天保のききんが全国をおそい、多くの餓死者が出て、百姓一揆や打ちこわしもたびたび起こる
→元大阪町奉行で陽明学者の()は、奉行所の対応に不満をもち、1837年に、弟子など300人ほどで大商人をおそい、米や金をききんで苦しむ人々に分けようとした(大塩の乱)

【天保の改革 老中()】

- ()令を出して、町人の派手な風俗を取りしまり、政治批判や風紀を乱す小説の出版を禁止する
- ()に解散を命じ、江戸に出かせぎに来ている農民を故郷の村に帰らせる